

(書式 2)

## 学会参加報告書

提出日 2016年 7月 21日

学籍番号	15M0020	学系	健康科学・スポーツ医科学系
氏名	東宮 繁人		
学会等名 (正式名称)	21th Annual Congress of the European College of Sport Science		
開催日程	2016年 7月 6日 ~ 2016年 7月 9日		
開催場所 (国・都市名)	オーストリア・ウィーン		
発表演題名	EFFECT OF LOW INTENSITY CYCLING EXERCISE SUBSEQUENT TO UPPER-BODY RESISTANCE TRAINING ON MUSCLE HYPERTROPHY IN UNTRAINED MEN		
参加報告 ・項目別に具体的に記載する。	<p>&lt;学会の全体の印象&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・学会会場は思っていたよりもコンパクトで各ブースをまわりやすいものであった。</li><li>・日本の学会とは異なり、会場内に自転車を持ち込んだり、キックボードで移動したりと、ラフな印象を受けた。</li><li>・様々な国から参加者が集まっていることもあり、考え方や発想だけではなく思想や主義といったものの多様性を感じた。</li></ul> <p>&lt;自分の研究と関連した発表とその内容&gt;</p> <p>題 : SPARC PROTEIN EXPRESSION IN RESPONSE TO RESISTANCE EXERCISE TRAINING IN IMMOBILIZED RAT SKELETAL MUSCLE</p> <p>内容 : 筋萎縮効果に対してレジスタンストレーニングが及ぼす影響を、ラットのギプス固定およびラダートレーニングモデルを用いて検討したもので、SPARC という骨格筋由来のタンパク質が関与していると報告しているもの。</p> <p>疑問 : この研究で用いているラダートレーニングモデルをレジスタンストレーニングと呼んでよいものなのか。</p> <p>&lt;自身の発表への質問・コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・何故、有酸素運動の前にレジスタンス運動を行ったのか。</li><li>・また、有酸素運動とレジスタンス運動を行う順序を逆にしたらどうなるのか。</li><li>・Muscle cross sectional areaは何を指しているのか。</li></ul>		

※ 補助金を受けた学生はこの学会参加報告書を提出すること。

提出期限は学会終了後2週間以内とする。

本報告書は学会参加報告書として日本体育大学総合スポーツ科学研究センターホームページ内に掲載されます。